

				科目コード	121
科目名	助産学研究Ⅰ (Midwifery Research)			選択区分	必修
単位数	1単位	時間数	15時間	学期	通年
担当教員	小嶋 理恵子、今村 朋子、井上 明子			区分	助産学探究領域
授業概要	助産実践の諸現象を科学的に解明するための研究の意義や基本的手法について教授する。実際に、継続事例報告論文の記述を段階的にすすめていくことで、対象に行った援助について研究的視点から考察を深めるプロセスの修得を目指す。このプロセスを通して、助産学研究Ⅱの継続事例報告論文の完成へとつなげていく。				
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 継続事例に対する援助の根拠となる文献を収集し、意図的で効果的な助産実践につなげるための研究的視点について理解を深めることができる。 2. 研究プロセスの理解をふまえて、論文の完成に向けたスケジュールを立てることができる。 3. 継続事例報告論文のテーマを焦点化し、中間発表で論文の方向性について述べるができる。 				

授業内容

回	項目	内 容	担当者
1	オリエンテーション	論文作成にあたっての説明 事例報告論文として、まとめたテーマの焦点化	小嶋理恵子 今村朋子
2	文献検索演習	まとめたテーマに関する文献の検索	図書館司書
3	自分が行った・行いたい援助の可視化	「診断・ケアの根幹である助産観」「学生がとらえた継続事例像」、「継続事例・家族への適切な助言と対象の希望を叶えるケアの提供」	小嶋理恵子 井上明子
4	援助の意味を考える	継続事例に対して行った援助実践の結果を記述することの重要性	
5	テーマの焦点化を行うプロセス	対象との関わりの中で行った援助の焦点化を行うプロセス：文献から援助の知見を得ることで考察を深める	
6	事例報告論文のまとめに向けて	論文を書く上でのルール、論文の構成、スケジュール、自分の実践により変化した対象の姿を描く	小嶋理恵子 井上明子 今村朋子
7-8	中間発表	事例報告論文計画書の発表と検討	
成績評価方法		論文計画書、中間発表の内容をもとに総合的に評価する。	
教科書		特に使用せず	
参考図書等		講義の中で適宜紹介していく	
備考		<p>※関連学習会の開催について</p> <p>第1回授業の後に、「事例報告論文までの道のり」として、事例報告論文発表に向けた、プレゼンテーション方法について修了生から学ぶ学習会を企画しています。</p>	